

# 青森のことば

青森県の方言は、大きく分けて、津軽弁、南部弁、下北弁の3つです。青森県は、藩政時代、津軽藩と南部藩の領地であったため、それぞれの方言が話されています。特に津軽弁と南部弁は、奥羽山脈で隔てられているという地理的条件や、人々の交流が制限されていたことから、方言にも、明確な境界が認められます。下北弁と南部弁の境界は、津軽弁と南部弁ほどはっきりしてはいませんが、下北弁は、南部弁をもとに海上交通を通じた津軽、北海道道南地方から影響を受けたものといわれています。



方言は  
県民の誇り  
なのです

県民アンケートでは、「住んでいる地域の方言が好き」が83%、「方言を残していきたい」が89%とほとんどの青森県民が方言を大切に思っています。方言は青森県民の誇りなのです!!

## 同じ「意味」でも 「言葉」が違う!

わい	私	あなた	な
わ			な
おら			んが

わがね	だめ	~だから	して、すて	たって	~だけれども
まいね			はんで	ばって	
わがね			すけ	ども	

やいやー	おやまあ	ひてえ	おでこ	ひざ	ひじゃかぶ
わいはー		なづぎ			へじゃかぶ
あっしゃー		ふたえ			ふじゃかぶ

## 同じ「言葉」でも 「意味」が違う!

怒鳴る	じなる	叫ぶ、 大声でいう
怒鳴る		

あかり、 <small>とうみょう</small> 燈明	あがし	魚の目	よのめ	めぐせ	恥ずかしい
あかり、 <small>とうみょう</small> 燈明		ものもらい			恥ずかしい
証明、証拠					<small>みにく</small> 醜い、正直だ